

# 南陽市民大学講座

## 【シンポジウム】 伝統的建造物群と南陽市の古い町並み

### ■開講日

第1回 9/ 2 (土) 【シンポジウム】定員50名

第2回 9/30 (土) 定員50名

第3回 11/11 (土) 定員50名

第4回 12/ 2 (土) 定員40名

※各講座の詳細は裏面をご覧ください

■会場 1～3回 赤湯公民館(えくぼプラザ)  
4回 結城豊太郎記念館

■募集定員 先着50名 ※第4回のみ40名

■受講料 通年：2,000円 / 単発：500円  
※通年受講者には全講座終了後の報告書が  
付きます

■申込方法 住所、氏名、電話番号、年代を明記して  
右記宛先までお申し込みください

■申込締切 8月21日(月)

### ■申込先

〒999-2292

南陽市三間通436-1 南陽市役所4階

電話 0238-40-8992 (直通)

ファックス 0238-40-3388

\*オンライン申込もできます  
右記QRコードから市HPに  
アクセスし、申込みフォーム  
からお申込みください



### ■諸注意

- 発熱や体調不良が認められる場合は受講をご遠慮  
ください。
- 第4回の会場は畳敷きとなっております。また、  
駐車スペースが限られますのでご注意ください。

主催：南陽市民大学講座運営委員会 / 南陽市教育委員会

----- きりとり -----

令和5年度南陽市民大学講座に申し込みます。

(ふりがな) 氏名	住所	電話番号	年代	受講希望 (○印を記入)				
				通年 参加	単発参加			
					①	②	③	④
	〒							
	〒							

# 令和5年度 南陽市民大学講座

## I

### 【シンポジウム】伝統的建造物群と南陽市の古い町並み

9月2日(土)  
13:30~15:30  
えくぼプラザ

【定員50名】

昭和50年から発足した重要伝統的建造物群保存地区の制度や代表的な地域での取り組みを学び、南陽市の街並みの特色を、観光などによる地域の活性化とどのように結び付けていくかを考える。

- 第1部 伝統的建造物群保存地区の制度と、全国的な活用状況について  
第2部 宮内熊野大社の門前町並みの保存について  
第3部 赤湯温泉街の町並み保存について

【司会】  
山形考古学会顧問  
佐藤 庄一 氏

【シンポジスト】  
熊野大社 禰宜  
北野 淑人 氏

上杉の御湯 御殿守 会長  
石岡 要蔵 氏

## II

### ここまでわかった北町遺跡の暮らしと環境

#### -最新の学術発掘調査の成果-

9月30日(土)  
13:30~15:30  
えくぼプラザ

【定員50名】

南陽市赤湯の北町遺跡は全国的にも珍しい更新世の低湿地遺跡であり、これまでの発掘調査により、約1万2000年前に遡る縄文時代草創期の住居址など、豊富な遺構と遺物が残されていることが明らかになった。また古白竜湖の堆積物からは、かつての北町での生活環境を偲ばせる様々な古環境データが見つかっている。この講演では、過去5年間に実施した学術発掘調査による最新の成果を紹介して、北町遺跡が全国的にも貴重な遺跡であることをお伝えする。

愛知学院大学  
文学部歴史学科准教授

長井 謙治 氏

## III

### 高校生と読む井上ひさし作品

11月11日(土)  
13:30~15:30  
えくぼプラザ

【定員50名】

川西町に生まれた作家・劇作家井上ひさしは、NHK人形劇「ひょっこりひょうたん島」、おびたしい数の小説、エッセイ、戯曲を執筆した。劇団こまつ座の立上げ、農業・環境・憲法問題などの社会活動、蔵書のすべてを寄贈しての遅筆堂文庫開設など、75年間の筆舌に尽くしがたい生涯を送った。その生涯を辿りながら、高校生とともに作品を朗読し、感想を語り合う。

川西町立図書館・  
遅筆堂文庫副館長

遠藤 敦子 氏

## IV

### 結城豊太郎翁の生涯と記念館の取り組み

#### ~次世代へバトンを繋げる~

12月2日(土)  
13:30~15:30  
結城豊太郎記念館

【定員40名】

戦時下大蔵大臣及び第15代日本銀行総裁として経済政策に力を注ぐとともに、故郷の発展に向け尽力した南陽市名誉市民である結城豊太郎翁の業績や信念、生き方を映像や展示資料で説明する。また、「臨雲文庫学び舎」や「小中学生へ向けての研修」等結城翁の信念を後世に伝える近年の記念館の取り組みを紹介する。

結城豊太郎記念館

館長  
鈴木 かなえ 氏

職員  
高橋 文子 氏

南陽市民大学講座は、平成9年にはじまった地域学講座です。主に南陽市や置賜地域の歴史や文化、多様な地域資源を学ぶことで、自分自身と地域のつながりを再認識し、地元への愛着を深めてもらうことを目的としています。

さらに、現代社会の身近な課題との関係性にも目を向け、地域課題の解決や、住民の主体的な活動につながる学びが得られるような講座づくりを目指します。

「地域のことをもっと知りたい！」そんな思いをお持ちの皆さん！

一緒に地域探究の旅に出かけましょう！

